クラウドに新しい力をプラスする

AZ Power

ZERO TRUST

×

Microsoft 365

Microsoft365で実現する ゼロトラストモデルのご紹介

Gold Microsoft Partner

Microsoft

AZPower株式会社はマイクロソフトパートナープログラムのGold Partnerです。

会社概要

クラウドに新しい力（価値）をプラスしてお客様のビジネスを変革します

会社名	AZPower株式会社
代表取締役	橋口　信平
東京本社	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-14-1　ヒューリック神田須田町ビル 2F
資本金	332,500,000円
事業種別	Microsoft Azureに特化したクラウドインテグレーション事業 クラウドを活用したIoTプラットフォーム提供事業 クラウドを活用したLMSサービス提供事業

ｈｔｔｐｓ：／／ａｚｐｏｗｅｒ．ｃｏ．ｊｐ

事業領域

AZPower株式会社は、お客様のクラウド活用をサポートするクラウドインテグレーターです。
ネットワーク導入からクラウドの活用、クラウドソリューションを提供し、ビジネスに貢献します。

クラウドインテグレーション・Azure技術支援事業

- テレワーク導入支援
- クラウド活用支援
- ネットワーク導入サービス
  - ExpresRoute
  - Azure VPN
- クラウドよろず相談
- クラウドライセンス（CSP）
- アセスメント
- Azureエンジニアの常駐
- Azure・Microsoft365導入支援
  - Azure Active Directory
    ID同期/ID管理
  - EMS（ AzureAD・ Intune・AIP）
  - Azure Virtual Desktop導入支援
  - Azure Sentinel
  - Azure Security and Management（旧 OMS）
- PaaSを活用した開発サービス
  - Power Platform
  - Azure DevOps
  - Cognitive Services
- コンサルティング・ワークショップ
  - Azure インフラエンジニア育成
  - Azure 開発エンジニア育成
  - Azure 導入支援
  - Azure 設計支援
    など

Power Cloud Plus

Azure PaaSを活用した　LMS・Skilling 事業

- トレーニング on クラウド
- 法人向けラーニングマネジメントシステム
- SKILLマーケット
- Teams連携
- ライブストリーミング配信
  - Cognitive Services
  - Azure Media Services
  - Funcrtion Apps
- PowerSKILL（専有型）
- PowerSKILL Lite（SaaS型）
- PowerSKILL MEET

PowerSKILL　PowerSKILL Lite

Azure PaaSを活用した　IoT 事業

- IoTプラットフォーム
- 閉域 セキュア SIM
- 認証・プロトコル変換
- デバイス管理・データ収集蓄積
- データの視える化
  - Azure Synapse Analytics
  - Azure Data Lake
  - Azure Stream Analytics
- Power IoT Platform
- Power SIM
- Power Monitor
- Azure IoT Central
- Power BI
- センサー機器

Azure をフル活用できる IoT プラットフォーム
Power IoT Platform

Microsoftとのパートナーシップについて

Microsoft Partner
Microsoft

Gold Application Integration
Gold Application Development
Gold Cloud Platform
Gold Datacenter
Gold Small and Midmarket Cloud Solutions

AZPowerはマイクロソフト社より6分野のGoldコンピテンシーパートナーとして認証されており、さらにGoldコンピテンシーの上位資格として高度な専門性を有する企業を認証する「Advanced Specialization」を2つの分野で取得しております。

AZPowerはマイクロソフト社の「Advanced Specialization」を日本ではじめて取得しました

Azureの
インフラ分野での
高度な専門性

QUALIFIED

Microsoft Azure への
Windows Server と SQL Server の移行

2020年10月9日、国内パートナーとして第一号の取得。

＋

Azureにおける
アプリケーション開
発分野での
高度な専門性

QUALIFIED

Web アプリケーションの
Microsoft Azure への最新化

2021年7月6日取得、インフラ分野に続いて2つ目の取得。

インフラ・アプリケーション開発の両面でAdvanced Specializationを取得することで「高度な専門性」を証明しております。
Azure専門のクラウドインテグレーターとして、安心してお客様のAzure活用をワンストップでおまかせください。

AZPowerの強み

移行計画の策定から、構築、運用までを一気通貫でサポートします

相談 構築 運用

コンサルティング支援サービス

クラウド商談のご支援やご利用される情報システム部門様による導入支援をコンサルタントによるQAサービスや技術情報の提供に加えて、アセスメント、ワークショップの開催、PoC、運用支援、最適化サービスなど要望に応じて実施します。

相談 構築 運用

Azure構築パッケージ

お客様のニーズが多い Azure 活用シナリオをお求めやすい価格でパッケージ化。「ファイルサーバー (IaaS) 構築Pack」、「Azure AD 構築Pack」などお客様のクラウド活用を強力にバックアップします。

相談 構築 運用

マネージド・よろず相談サービス

Azure Monitorなどを活用した 24/365 自動監視を行い障害時の復旧作業を行います。クラウドとネットワークを一気通貫でマネージドすることにより、障害対応時間の短縮を実現します。またAzure利用中の困った！を解決する、インシデント対応型よろず相談サービスにて運用をサポート！

AZPowerが得意とする領域

ID管理

オンプレミスの Active Directory をどのようにAzure ADと連携し、SSO、アカウント管理の一元化を実現していけば良いのか。お客様の環境・ご要望をお聞きして5つのパッケージから最適なプランをご提案いたします。

ネットワーク

クラウド活用においてネットワークは非常に重要な要素となります。当社の「フルクラウドオフィスリファレンス」やネットワークパッケージサービスを経験豊富なエンジニアがご提案。クラウドとネットワークをワンストップでご提供いたします。

VDI

Azure Virtual Desktopは導入後の運用が重要です。運用次第で70%のコスト減を実現するノウハウを持つAZPowerに導入支援から運用までおまかせください。AVDをお試しで利用できるスタータープランもご用意してます。

PaaSを活用した開発

Azure PaaSは、ITインフラの構築や運用保守が不要というだけでなく、PaaSを組み合わせることで複合的なアプリケーションを短期間に安価に開発できます。
Azure PaaSを熟知した当社の開発者が、PaaS上でのスピード開発をサポートします。

IoTプラットフォーム

Azure PaaS を活用した IoT プラットフォーム「Power IoT Platform」によりセンサーデバイスを短期間にクラウド接続させ、センサー情報を BIツールで可視化できます。デバイス管理機能による M2M 環境の実現など様々なニーズにお応えします。

LMS

Azure PaaS を活用した、いま「最も使いやすい」クラウド型LMS「PowerSKILL」。企業内研修の課題をオールインワインで解決します。

AZPowerが選ばれる理由

お客様の声

- ✓ 各論での提案に…
- ✓ 部分的な最適化だな…
- ✓ 全体を最適化したベストプラクティスが欲しいのに…

NIer
オンプレFW・VPN・UTMを売りたい
クラウドとのルーティングは？？

SIer
不慣れなクラウド提案
オンプレ売りたい。。
自社IDC売りたい。。
ID管理？？

Carrier WAN
クラウドに適したネットワークとは？
帯域・冗長・迂回は？

お客様の声

- ✓ クラウド活用のトータル的なベストプラクティスをご提示
- ✓ 全ての提案がオールインワンで全体最適化ができる！
- ✓ 全体最適化へ向けて段階的にクラウド化も可能！

AZ Power

オンプレには何も置かない思い切った、潔い提案をさせていただきます！

Microsoft
パートナー　サポート

Network Career／Developer
サポート　アライアンス

クラウド導入に際し、既存SIerから当社を選定いただいたあるお客様の声

ポイント	既存オンプレSIer	当社に対する評価
Azure、M365に関する知見	Azure、M365に関する知見が少ない	Azure、M365専門店としての技術力を評価
見積もりスピード	１つの見積もり依頼に2か月かかる 縦割りで部署、グループ間の連携に時間を要する	1週間程度で大枠の提案が出てくるスピード感 組織役職を廃したフルフラット組織のスピード感
NI、クラウド、WANワンストップ提案	WAN、ルーティング含めた提案が出てこない	クラウドに最適化したNI、CI、WANをワンストップ提案
ID管理	ActiveDirectory、AADに精通したエンジニアがいない	ActiveDirectory、Azure ADに精通したエンジニアをそろえている
提案	言われた提案はできるが、提案型の構成が提示されない	最新クラウドテクノロジーを活用した潔い提案を実施
構築費用例	1億円	3,000万円

ニューノーマル時代の
新しいセキュリティモデル=ゼロトラストモデル

「2年分のデジタル変革が2ヶ月で起きた」とされる今こそ、
新しい時代のセキュリティモデルを

「守られた領域はない」＝ 0 trust
ZERO

Office 365　Azure

Microsoft 365 + Azureによるゼロトラストモデル導入を

AZPowerがサポートいたします！

0 TRUST
ZERO
×
Microsoft 365

ご注意

- 本資料の仕様は、資料作成時点のものです。
- クラウド サービスのため、仕様は予告なく変更されている場合がございますのでご注意ください。

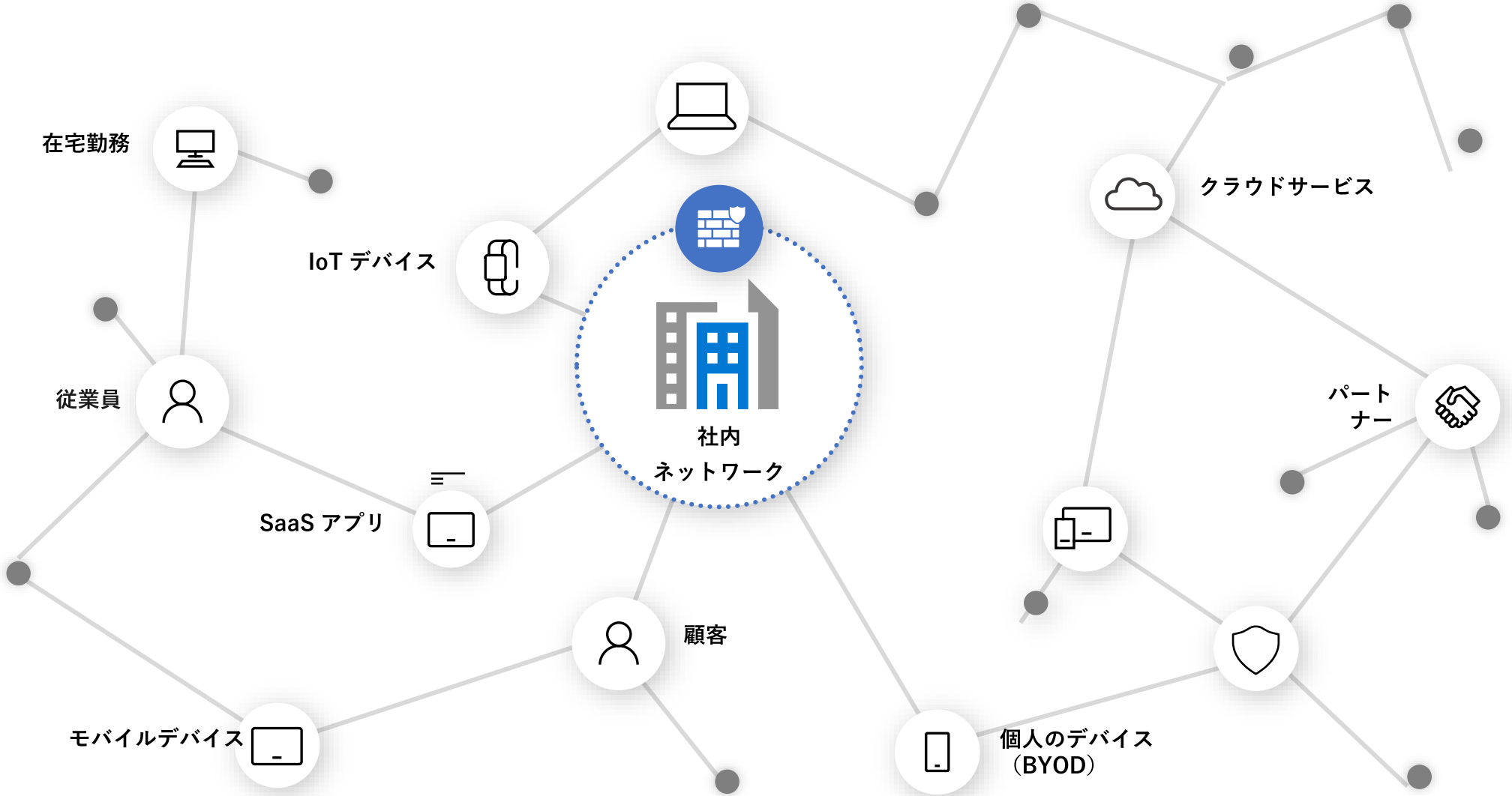
ゼロトラストとは??

- 特定の技術や製品、ソリューションを指す言葉ではありません。
- ネットワークロケーションをベースとしたデバイスやユーザーを**暗黙的に信頼せず**
常にアクセスの信頼性を検証することで情報資産を保護する**セキュリティの考え方・概念・戦略**の事です。

IT を取り巻く社会環境の変化

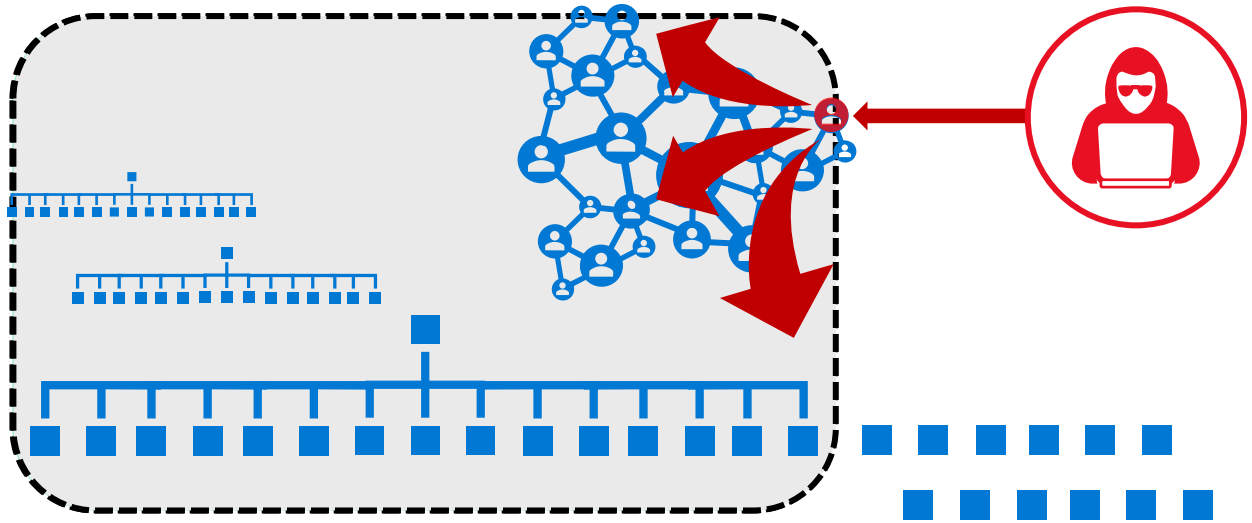
働き方の変化

Covid-19 以降、リモートワークのニーズが急速に高まる



脅威の変化
より攻撃者優位の状況へ

- リモートワーク（VPN の脆弱性）を狙った攻撃の増加
- サプライチェーンを狙った攻撃の増加
- 高額な身代金を狙った Human-operated Ransomware の出現
- 攻撃ツールや攻撃サービスの流通により、高度なスキルがなくても攻撃が可能に

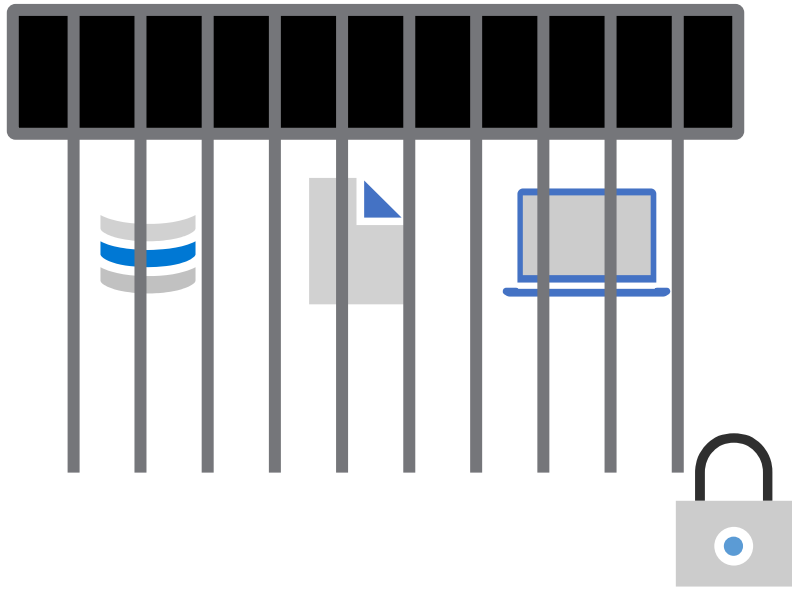


ゼロトラストの考え方（NIST SP800-207）

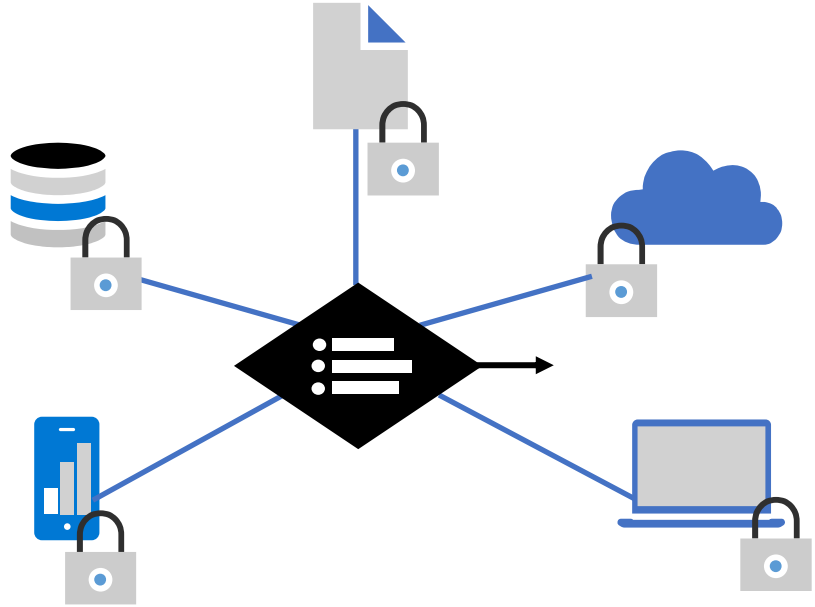
①	すべてのデータソースとコンピューティングサービスをリソースとみなす
②	ネットワークの場所に関係なく、すべての通信を保護する
③	企業リソースへのアクセスは、セッション単位で付与する
④	リソースへのアクセスは、クライアントアイデンティティ、アプリケーション/サービス、リクエストする資産の状態、その他の行動属性や環境属性を含めた動的ポリシーにより決定する
⑤	すべての資産の整合性とセキュリティ動作を監視し、測定する
⑥	すべてのリソースの認証と認可を動的に行い、アクセスが許可される前に厳格に実施する
⑦	資産、ネットワークインフラストラクチャ、通信の現状について可能な限り多くの情報を収集し、セキュリティ態勢の改善に利用する

従来の境界防御との違い

セキュリティを簡素化し、より効果的にする



従来型のアプローチ（境界防御）
全ての物を “セキュア” ネットワークで制限



ゼロトラスト
ポリシーを用いてどこでも資産を保護

クラウド利用に伴う利用環境の変化

いままで		これから
ローカルエリアでの管理	インフラ	インターネット・クラウド管理
会社貸与PC（ローカルエリア限定）	デバイス	会社貸与PC（様々な場所から）/スマートデバイス
中は安全、外は危険	管理方針	ゼロトラスト
一元管理	ファイル共有	利用シーンに応じて選択
境界型ネットワーク	ネットワーク	インターネット直結

Microsoft365&Azureで実現するゼロトラストモデル導入のご提案



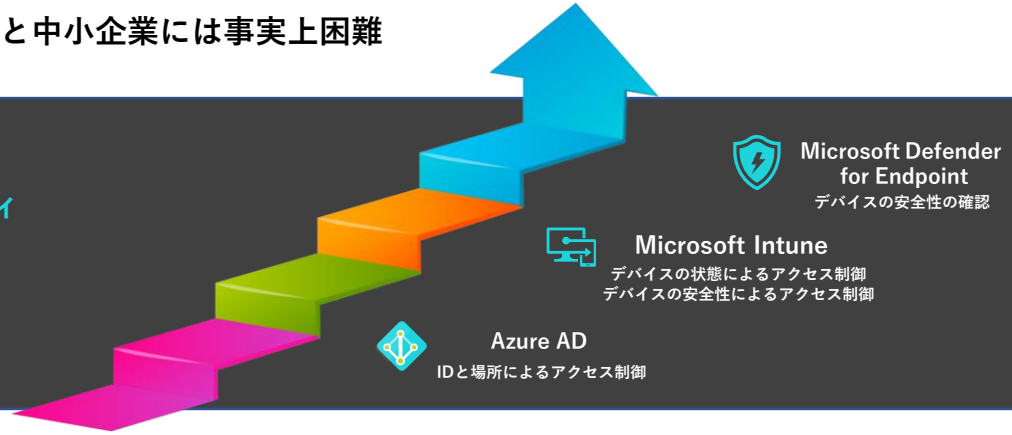

現在、社会全体にリモートワークができることが求められています

リモートワークに求められるセキュリティ対策とは？

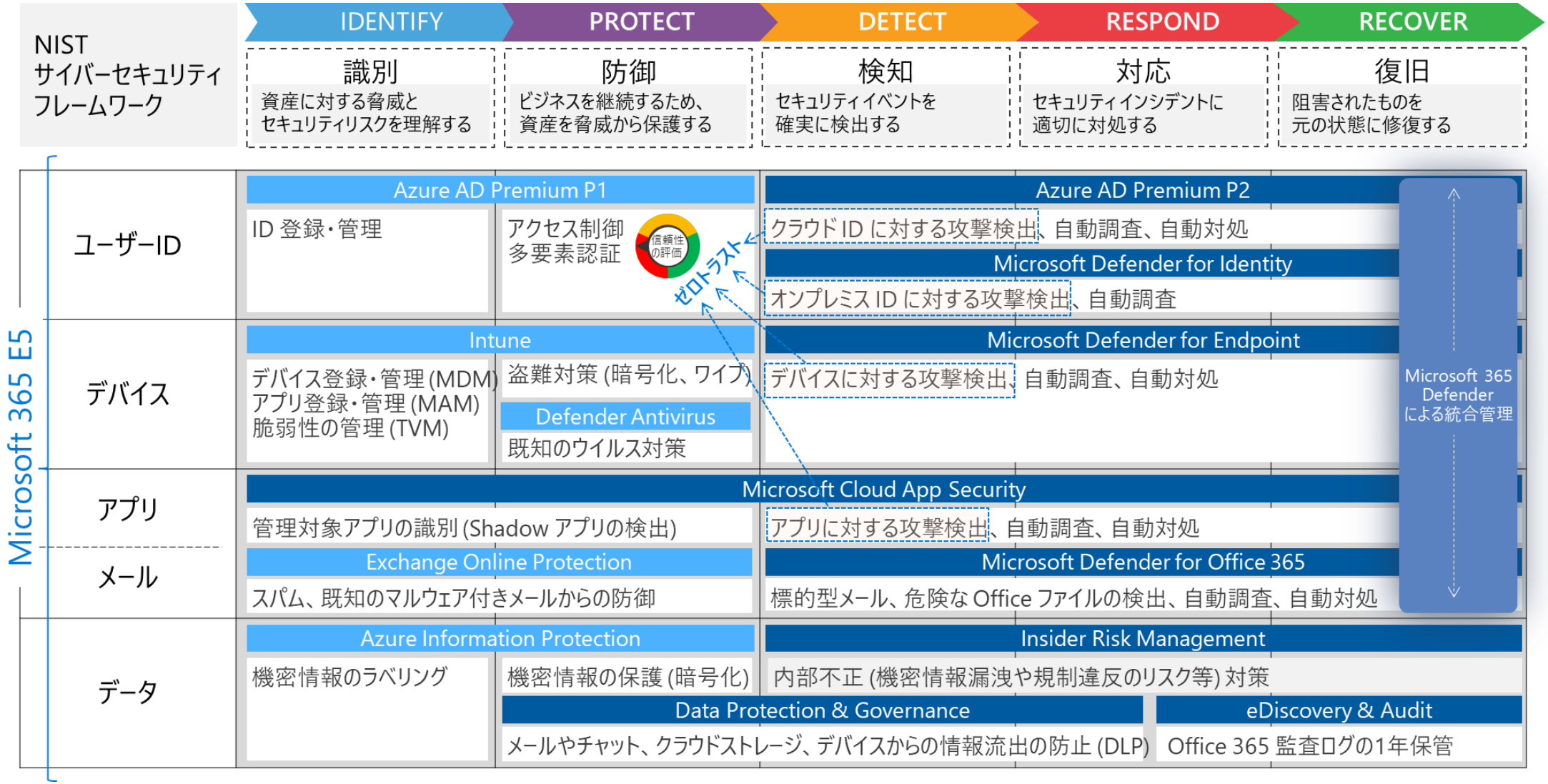
- ✓ デバイスの安全を確認したい
- ✓ 最新の脅威への対処・予防
- ✓ リモートから管理したい
- ✓ 社内ネットワーク（境界型ネットワーク）の外でもしっかり保護したい
- ✓ インシデント対応は極力自動化

Microsoft 365 E5を導入することで上記セキュリティ対策は可能だが・・・・
費用面（¥6,200 ユーザー/月）、導入・管理面（社内にスキル保持者確保）を考えると中小企業には事実上困難

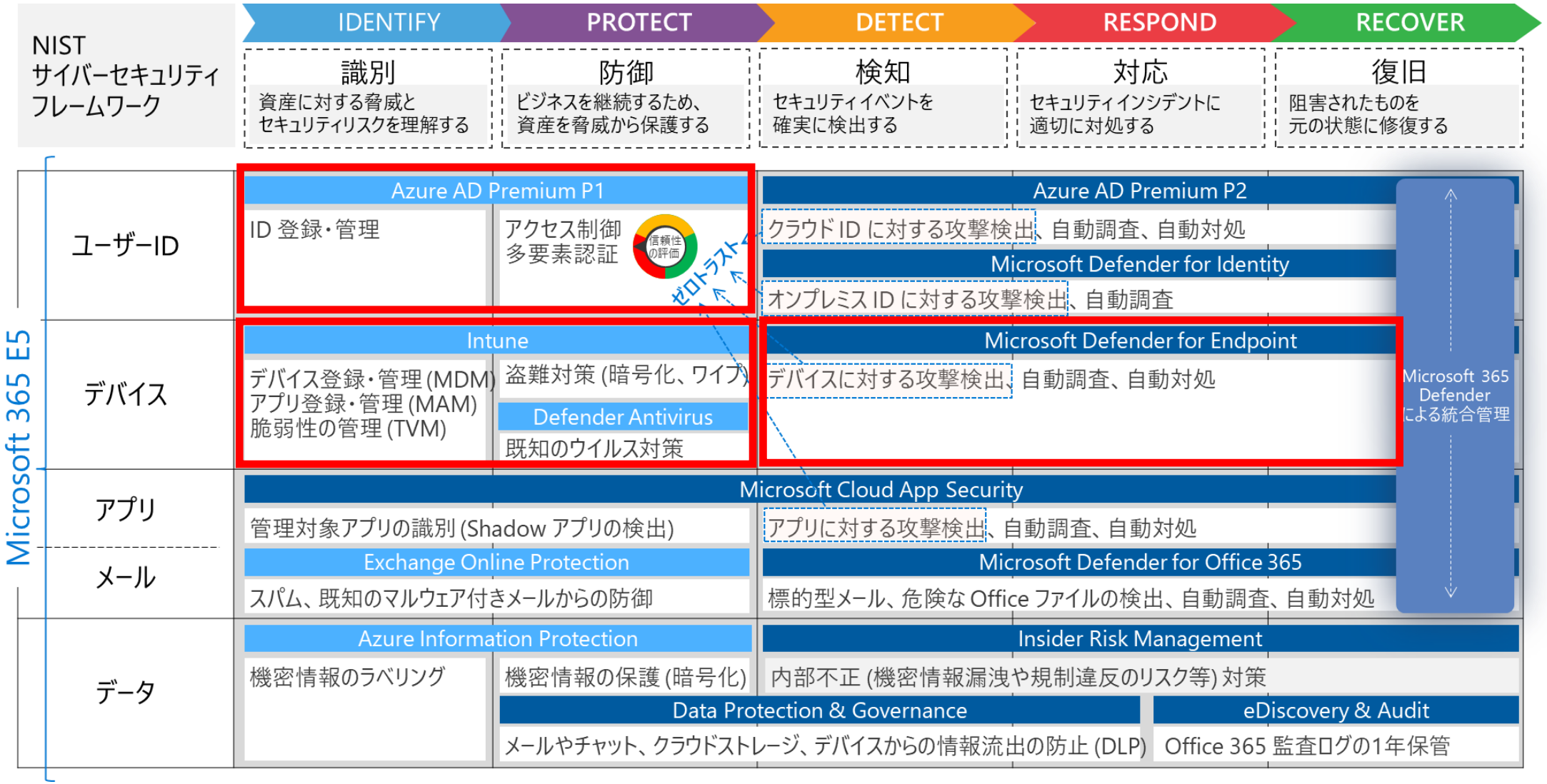
AZPowerでは、ゼロトラストの基本となる「ユーザー保護」「デバイス保護」からセキュリティ対策をご提案し
要件・予算に応じた部分的かつ段階的なセキュリティ導入を支援いたします。



Microsoft 365 E5 活用による理想的なゼロトラスト

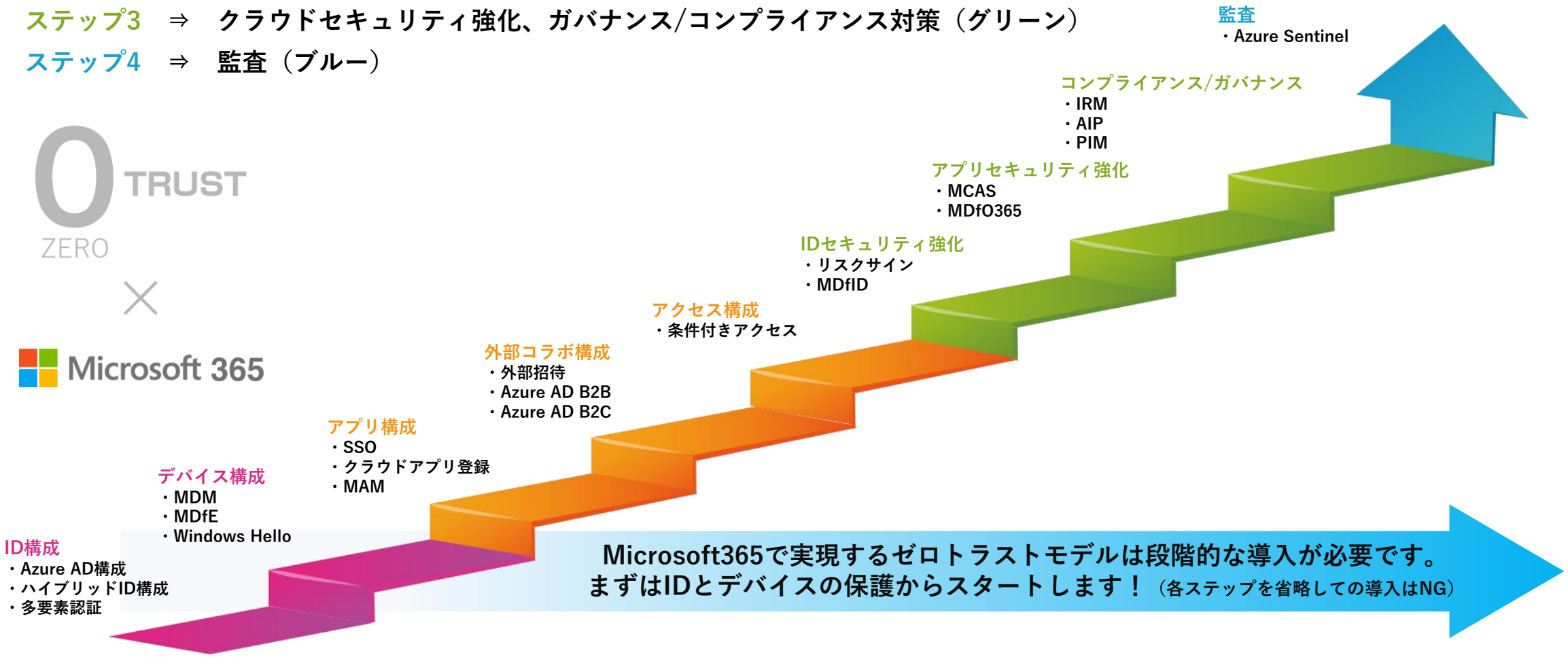


最優先に取り組むべきは？（赤枠）



ゼロトラスト導入ステップ

ステップ1 ⇒ ID/デバイス侵害からの保護（ピンク）
ステップ2 ⇒ クラウドアプリへの安全なアクセス（オレンジ）
ステップ3 ⇒ クラウドセキュリティ強化、ガバナンス/コンプライアンス対策（グリーン）
ステップ4 ⇒ 監査（ブルー）



Microsoft365とAzureで実現するゼロトラストモデル

３つの基本構築パッケージ

AZ Power

①

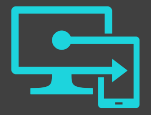
Azure AD

IDと場所によるアクセス制御

クラウドベースによって提供される認証サービス（IDaaS）です。インターネットがつながる環境であれば利用可能。ニューノーマル時代のテレワーク・ゼロトラストモデルに欠かせない認証サービスです。

月額ライセンス
672円（税別） /ユーザー

②



Microsoft Intune

デバイスの状態によるアクセス制御
デバイスの安全性によるアクセス制御

PCやスマホをインターネット通じて管理。利用場所を特定できないテレワークやBYODデバイスへのポリシー適用や利用アプリ制限など管理し、一括で制御することがきでます。紛失・盗難にも対応します。

月額ライセンス
650円（税別）/ユーザー

③

Microsoft Defender for Endpoint

自動インシデント対応

Windows10が持つセキュリティ機能をフル活用すると、近年、注目されているEDR（Endpoint Detection and Response）の導入をサポート。ご利用PCへの脅威の検知・除去を自動で行います。

月額ライセンス
570円（税別）/ユーザー

① Azure AD構築パック

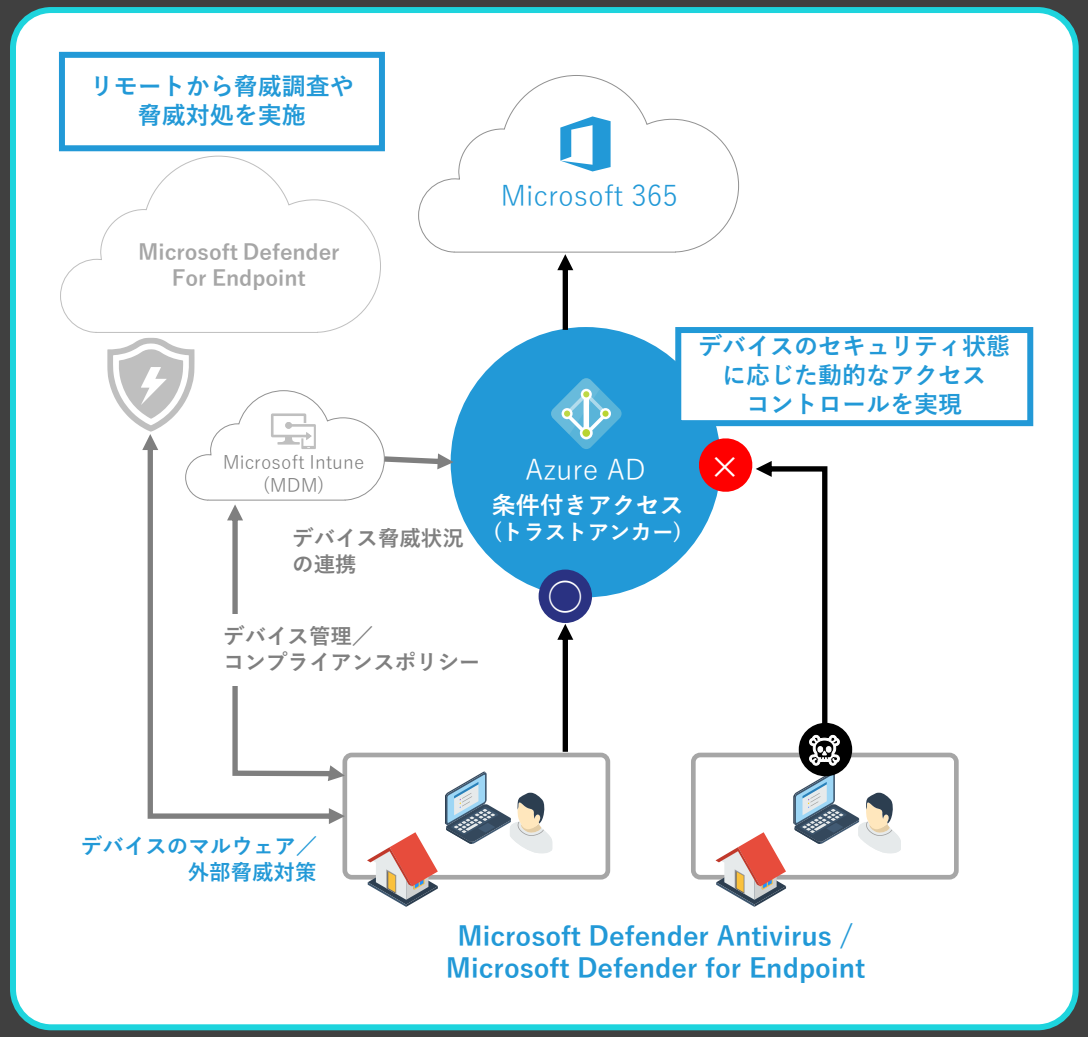
Azure AD Premium1

シングルサインオン、なりすまし防止に有効な多要素認証、条件付きアクセスを実現するAzure AD Premium1の機能をIDaaSとしてフル活用するパックです。

- 各種SaaSサービスの認証を統合しシングル・サインオンを実現
- ID・パスワードの管理工数を大幅削減
- 多要素認証でなりすまし防止

IDaaSとは？

IDaaSとはIdentity as a Serviceの略称で、Identity（＝ID）をクラウドで管理するサービスです。
従来、「ファイアウォールの内側は安全という前提」のもと、ITリソースは「内側」に配置され、「内側」にいるユーザーは正規のユーザーとすることでセキュリティの安全性を保持してきました。
しかし、テレワークの普及などにより「内」と「外」の境界を設置することが困難となり、「内側」「外側」を混在させながらビジネスを推進する必要性が高まるにつれ、IDが新たな境界として注目されています。
従来型のID管理やセキュリティソリューションでは対応しきれない複雑な管理や条件の設定などを行えるサービスとしてのID管理サービスが必要となります。このIDに焦点を合わせたサービスとしてIDaaSが誕生しました。
IDaaSはこれからのIT活用に欠かせないサービスです。



① Azure AD構築パック参考価格

Azure AD

IDと場所によるアクセス制御

ニューノーマル時代では、社外での業務対応は必須です。社外における「人」「デバイス」「アプリケーション」の管理はより重要な課題となります。インターネットに接続できる環境で3つの管理課題を解決するiDaaSとしてのAzure AD活用。管理だけでなくシングルサインオンや、なりすまし防止のための多要素認証など、ユーザー（利用者）の手間やセキュリティを大幅に向上させます。

一般的な構成を構築した場合の“参考価格”となります。

項目	作業項目	価格（税抜き）
初期費用	Azureサブスクリプション払出し／Azure AD PREMIUM P1 ライセンス払出し／Azure ADアカウントの作成／要件確認／多要素認証設計／条件付きアクセス設計（最大3つまで）／管理者向けスキルトランスファー	¥300,000～

※価格は～30名規模です。規模・ご要望に応じて初期費用は変動致します。

項目	サービス名	価格
月額（ライセンス）費用	Azure AD PREMIUM P1※	¥672

※本導入パックでのAzure AD PREMIUM P2のご利用は対象外となります。
※Azure AD PREMIUM P2の機能のご利用は別途お問い合わせください。

既存Active Directoryの資産を生かした「ハイブリット化」は別途ご相談ください

② Microsoft Intune構築パック

Microsoft Intune

PCやモバイルの管理やポリシーの適用など、デバイスのセキュリティ対策を一括で行う環境を構築します。
クラウドから企業の所有デバイスや、そのセキュリティ準拠状態に応じたアクセス許可を実現します。

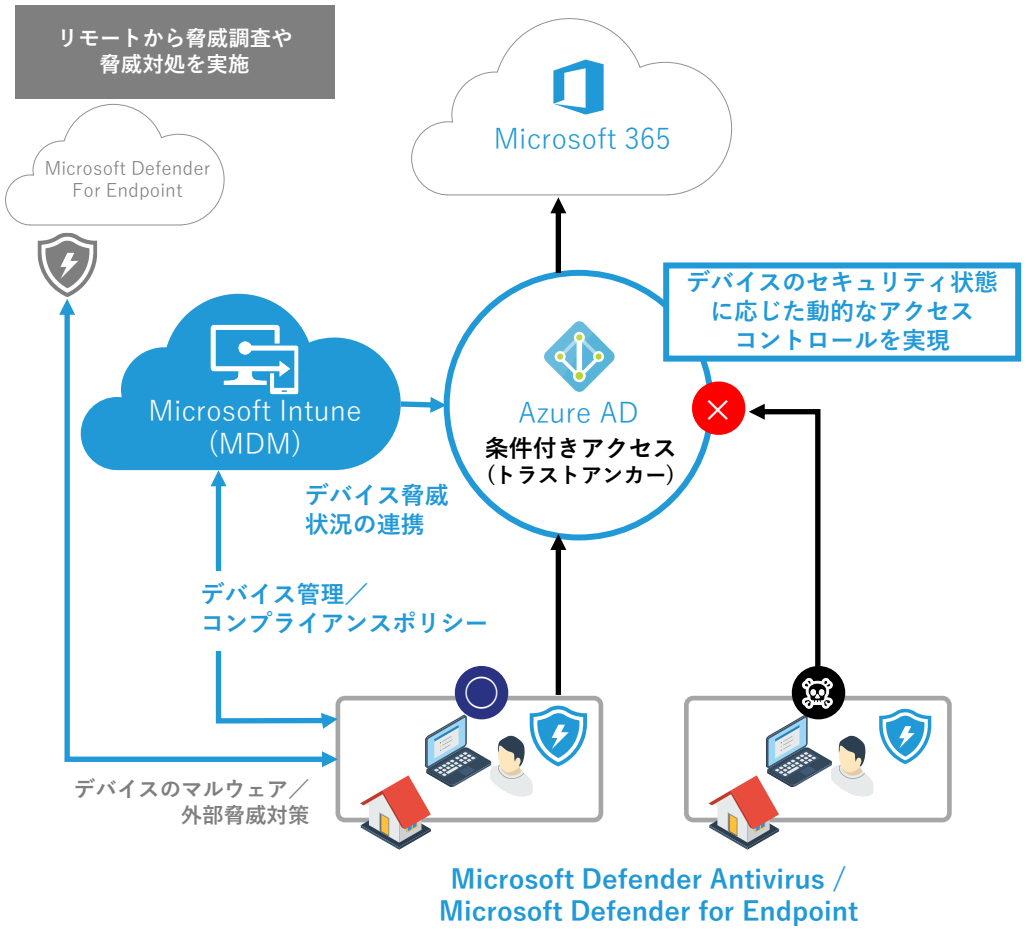
Microsoft IntuneはPC・モバイルデバイス管理(MDM)とモバイルアプリの管理（MAM）を提供するクラウドサービスです。
主にデバイスの管理、設定などのポリシー配布、アプリの配布ができます。

- 端末の状態の監視(アップデートがされているかなど)
- 端末紛失時のワイプ
- 端末の設定・ポリシーの適用・変更

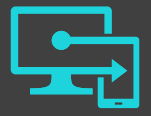
MDMとMAM

MDM（Mobile Device Management）
：業務で使用するスマートフォン・タブレットの情報漏えいを防ぐためのデバイス管理の仕組み

MAM（Mobile Application Management）
：業務で使用するスマートフォン・タブレットにインストールしたアプリケーションを管理する仕組み



② Microsoft Intune構築パック参考価格



Microsoft Intune

デバイスの状態によるアクセス制御
デバイスの安全性によるアクセス制御

働く場所を特定でいきない今、「スマホやタブレットなどのデバイス管理はどうする？」という重要な課題を抱えています。Microsoft Intuneは、利用場所を特定できないデバイスの管理課題を解決します。会社のデータにアクセスするモバイルデバイスの紛失・盗難、会社のセキュリティポリシーを適用するMDMとして活用することで会社の情報を保護することも可能です。

一般的な構成を構築した場合の“参考価格”となります。

項目	作業項目	価格
初期費用	Azureサブスクリプション払出し／Microsoft Intune ライセンス払出し／Azure ADアカウントの作成／要件確認／デバイスコンプライアンスポリシー設計／管理者向けスキルトランスファー	¥400,000～

※価格は～30名規模です。規模に応じて変動致します。
※本導入パックでのMAM対応は対象外となります。
※本導入パックでの対象OSはWindows 10 Pro/Enterprise、macOS、 iOS、Androidです。（その他OS対象外です。）

項目	サービス名	価格
月額（ライセンス）費用		¥652

※ライセンスはユーザーライセンスです。
※1ユーザーライセンスにつき、PC 5台、スマートフォン5台、タブレット5台の最大15台まで管理可能です。

③ Microsoft Defender for Endpoint構築パック

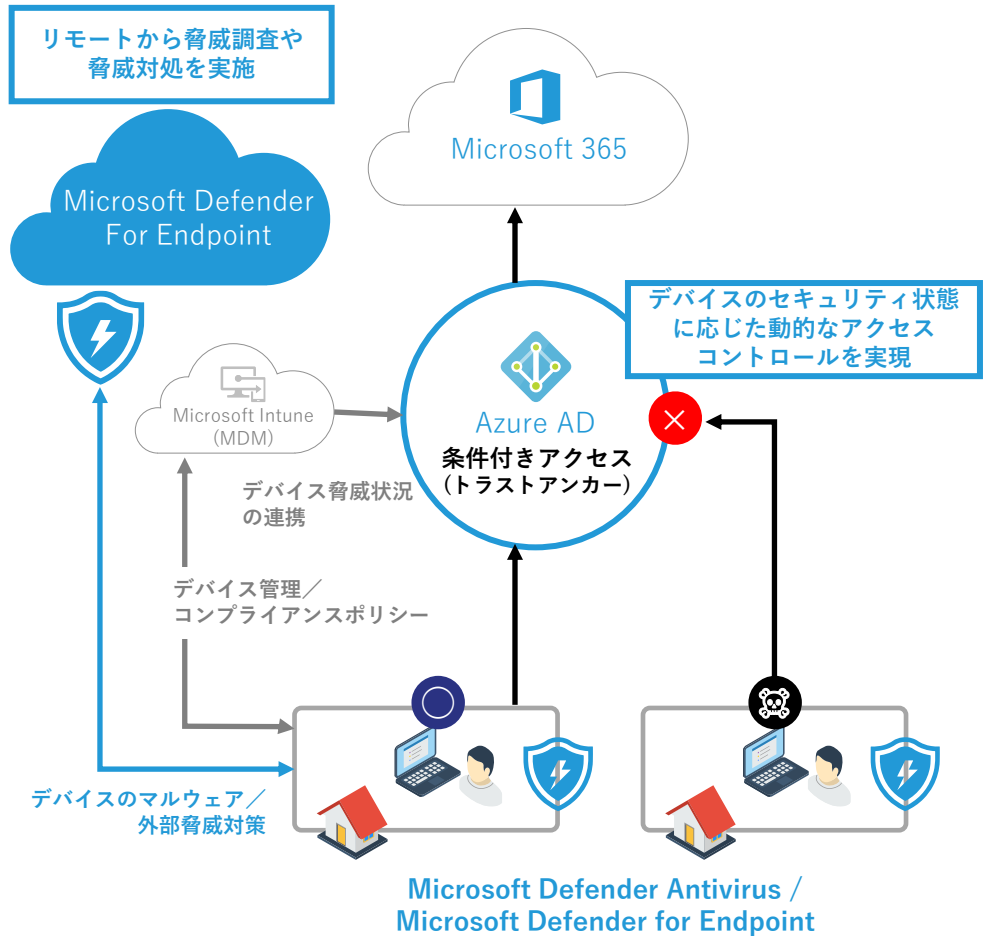
Microsoft Defender for Endpoint

EPP（エンドポイント保護プラットフォーム）に加えEDR（エンドポイントでの検出と対応）機能も充実。予防的な保護、侵害後の検出、自動化された調査にも対応した人手に頼らないセキュリティ体制を構築します。

- PC やスマホがどこにあっても常に最新のセキュリティで保護
- マルウェア対策もリアルタイムに検出～対処まで自動化
- 未知の脅威でも自動で異常を検知・対処を行う

EPPとEDRとは？

いずれもエンドポイントセキュリティ手法の略称です。両者の機能の違いから説明すると、
EPP（Endpoint Protection Platform）：エンドポイント保護プラットフォーム
EDR（Endpoint Detection and Response）： エンドポイントでの検知と対応
となります。
EPPは従来のアンチウイルスソフトに代表される「攻撃からの防御」する機能です。
一方EDRは、万が一EPP側で対応できない時、異常を検知して対処までを自動で行うのがEDRです。近年、マルウェアなどの脅威の進化スピードは早く、EPPで対応する前に侵入されてしまうケースが相次ぐことから、このEDRの必要性が高まっています。
そこで両者の目的の違いを以下とすると、理解しやすくなります。
EPP：防御対策（外部からの脅威に対するガード）
EDR：侵入後の対処（万一の侵入後における対応）



③ Microsoft Defender for Endpoint構築パック参考価格

Microsoft Defender for Endpoint

自動インシデント対応

サイバー攻撃の巧妙化と多様化により侵入を防ぐのが難しい今日、驚異を自動で検知・対応を行うEDR サービスは必須です。働き方が変わり、あらゆる場所で作業を行うを考えなければいけない今、ファイアーウォールやアンチウィルスなどの防御だけでは、情報や資産を守ることは出来ません。
この構築パックでは、Microsoft Defender for EndpointによるEDR構築を行います。

一般的な構成を構築した場合の“参考価格”となります。

項目	作業項目	価格（税抜き）
初期費用	Azureサブスクリプション払出し／Microsoft Defender for Endpoint ライセンス払出し／要件確認／対象デバイス選定／管理設計／運用設計／管理者向けスキルトランスファー	¥200,000～

※価格は～30名規模です。規模・ご要望に応じて初期費用は変動致します。
※本導入パックでの対象OSはWindows 10 Pro/Enterprise、macOS、Androidです。（その他OS対象外です。）

項目	サービス名	価格（税抜き）
月額（ライセンス）費用	Microsoft Defender for Endpoint ※	¥570

※ライセンスはユーザーライセンスです。
※1ユーザー5デバイスまで利用可能です。

組み合わせてご利用いただけます

Microsoft Defender for Endpoint

デバイスの安全性の確認

＋

Azure AD

IDと場所によるアクセス制御

一般的な構成を構築した場合の“参考価格”となります。

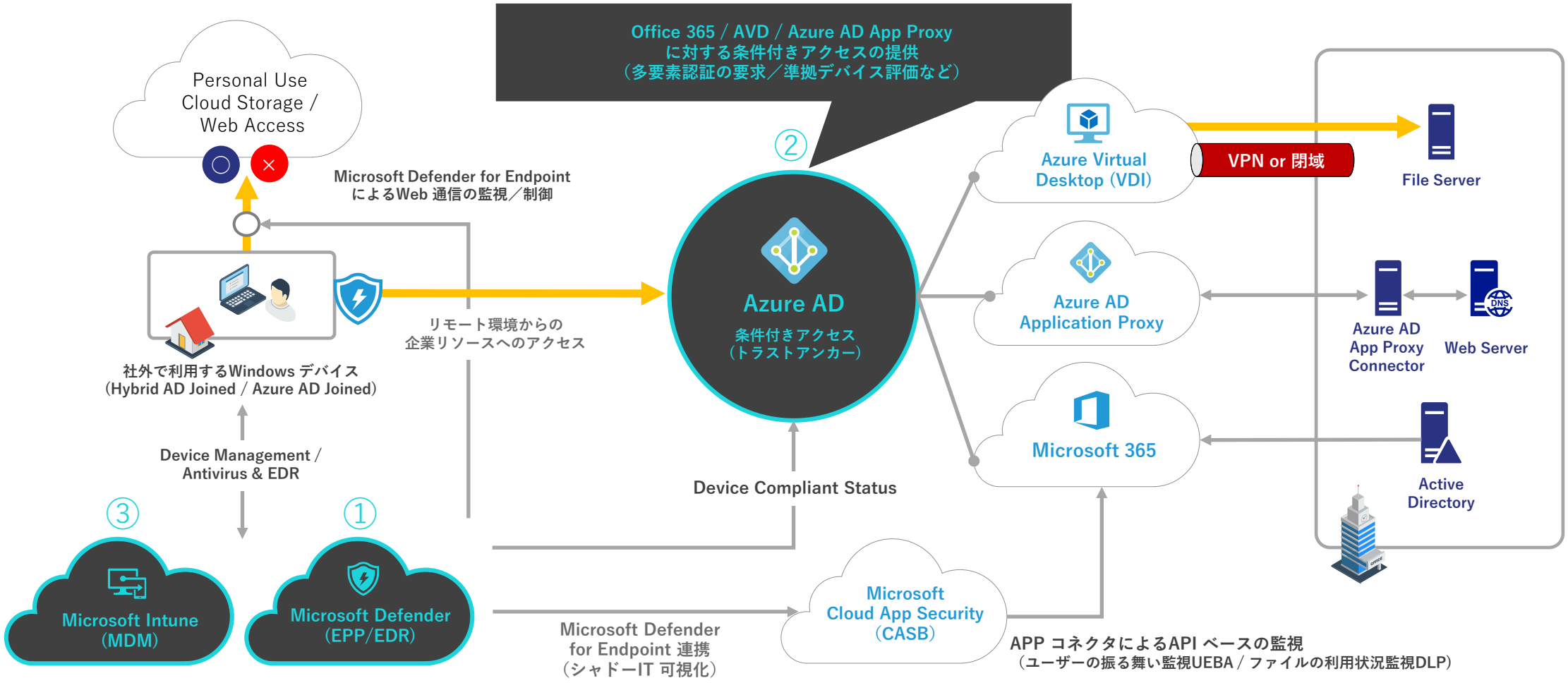
項目	作業項目	価格
初期費用	Azureサブスクリプション払出し／Microsoft Defender for Endpoint ライセンス払出し／Azure AD PREMIUM P1 ライセンス払出し／Azure ADアカウントの作成／要件確認／対象デバイス選定／管理設計／運用設計／多要素認証設計／条件付きアクセス設計（最大3つまで）／管理者向けスキルトランスファー	¥500,000～

※価格は～30名規模です。規模に応じて変動致します。
※本導入パックでの対象OSはWindows 10 Pro/Enterprise、macOS、Androidです。（その他OS対象外です。）

項目	サービス名	価格
月額（ライセンス）費用	Microsoft Defender for Endpoint ※1	¥600
	Azure AD PREMIUM P1 ※2	¥672
	合計	¥1,272

※1 ライセンスはユーザーライセンスで、1ユーザー5デバイスまで利用可能です。
※2 本導入パックでのAzure AD PREMIUM P2のご利用は対象外となります。

Microsoft365+Azureで実現するゼロトラストモデル
ベストプラクティス



クラウドに新しい力をプラスする

AZ Power

クラウドに、テクノロジーであたらしい力をプラスし、世界中のお客様の
デジタル変革（デジタルテクノロジーによるビジネスイノベーション）を実現する。

弊社サービスに関するお問い合わせ・ご相談は下記メールまで

ap-sales@azpower.co.jp

AZPower株式会社